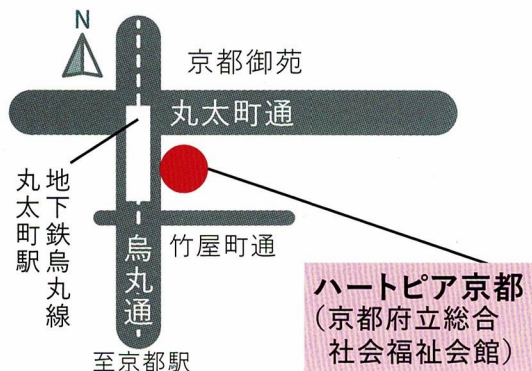


とき／**5.18(日)**
2025.
午後2時～4時30分
会場／**ハートピア京都**

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る
地下鉄丸太町駅5番出口



『センス・オブ・ワンダー』出版60年記念 レイチェル・カーソンのつどい2025

プログラム

●開会

報告1

レイチェル・カーソンの
「センス・オブ・ワンダー」
浅井千晶 (千里金蘭大学教授)

報告2

宮沢賢治の
「センス・オブ・ワンダー」
鵜野祐介 (立命館大学教授)

報告3

新美南吉の
「センス・オブ・ワンダー」
遠山光嗣 (新美南吉記念館館長)

- 意見交換
- 閉会

参加費／1,000円 定員／200名

レイチェル・カーソン (1907～1964)

アメリカの海洋生物学者。化学物質による環境汚染についていち早く警告した。彼女の著書『沈黙の春』『センス・オブ・ワンダー』はいまも読みつがれている。

人間だけの世界ではない。
動物も植物も一緒に住んでいるのだ。

2025年は、レイチェル・カーソンの『センス・オブ・ワンダー』出版60年にあたります。
この機会に「センス・オブ・ワンダー」の意味について様々な角度から考え、理解を深め合うことにします。

主催：レイチェル・カーソン日本協会関西フォーラム
連絡先：TEL/FAX：075-354-6637 メール：jrcc-thara@ab.wakwak.com

協力：NPO 法人コンシューマーズ京都、京都府地球温暖化防止活動推進センター
京都市ごみ減量推進会議、気候ネットワーク、京都循環経済研究所